

■日 時 平成27年12月22日(火) 19:00～20:35

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■質疑概要

1. 平成27年度第2回モニタリング調査結果について

◇H26S2(2)の砒素濃度が低下しているが井戸を代えた影響なのか、今後の経過を見ていく必要がある。

→イオン濃度の分析結果から井戸の水質の継続性は確認していますが、今後も注視しますと、回答しました。

◇測定は何回繰り返しているのか。誤差が10%の範囲で振れるのでは信頼性が低いのではないのか。

→測定は1回。異常と思われるデータについては再確認していると、回答しました。

◇止水矢板の施工で、経堂池の水質はどう変わると想定しているのか。

→止水矢板の施工で、浸透水の流水は遮断したと考えている。ただし、現在の水質がそれほど悪いレベルではないので、大きな変化はないと考えていますが、次回以降も注視しますと、回答しました。

2. 二次対策工事について

◇浸透水貯留層の容量計算で台風18号のデータを入れて計算をしているが、結果は過去の委員会の資料の計算方法と同じか。過去の資料で示された計算結果から推定される値と一致しない。

→過去の資料と表示の仕方が違うが計算方法は同じであると、回答しました。

◇鉛含有土の取扱いについてアドバイザーからいろいろな意見が出されているが、具体的な対応を次回なりに出してもらえるのか。

→これらの条件を踏まえた対応方法を今日示した。なお、位置情報の保存やモニタリングの方法等については今後の検討課題とすると、回答しました。

◇鉛は漏れないか。

→鉛は溶出していないので浸透水に影響しない。しっかり監視していくと、回答しました。

3. その他

◇RD 処分場実態解明のため、工事の記録はしっかり残してほしい。

→掘削工事で確認されたデータについては、しっかり記録にまとめる。総括として工事終了後の段階で、他県の事例を参考に、その記録を公開することを検討課題としたいと、回答しました。